

連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.188 (2009年4月1日)

発行人・川越敏良 編集人・小松義明

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和三丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL info@tokushima.jtuc-rengo.jp

すべての働く者の連帯で、ともに働き暮らす社会をつくろう

4月 3日(金)2009 中小春闘勝利・未解決組合支援促進徳島総決起集会

18時~(県郷土文化会館)

女性委員会第2回役員会 16時

当
面
の
日
程

連合徳島地域ユニオンを結成!



非正規労働者や労働組合のない企業の社員らが個人加入できる労働組合「連合徳島地域ユニオン」の結成総会が、3月29日(日)11時から労働福祉会館で開催され、連合徳島役員、関係者40人が参加した。

総会は、藤森副事務局長を議長に選出後、主催者を代表して川越会長は「徳島地域ユニオンは、47地方連合会の中で45番目の設置となったが、一人でも入れる労組として少数労組を組織化していき企業との団体交渉を行い、労働条件の改善を図って行きたい。そのためには、連合徳島の各構成組織の皆さんの協力なくしては前進しないので、ご支援・ご協力をよろしく

お願いします」とあいさつ。

続いて、小松事務局長から連合徳島地域ユニオン結成

までの経過を説明した後、第1号議案・目的について、第2号議案・活動方針、第3号議案・予算、第4号議案・役員、第5号議案・規約、についてそれぞれ提案、質疑の後、全体の拍手で承認された。

最後に、川越会長の音頭で団結ガンバローを三唱し、結成総会を閉じた。

引き続き13時から開催された「年末年始緊急カンパ報告集会」には60人が参加。まず始めに、新しい自立化支援塾・森本代表から活動報告とこれまでの支援に対するお礼のあいさつを受けた後、記念講演会では、派遣ユニオンの関根書記長から「派遣の現状と今後の課題」について講演を受けた。関根書記長は、グッドウィル、フルキャストに自身が応募する中で日雇い派遣会社の劣悪な労働条件の実態を明らかにするとともに、派遣村の誕生や日産ディー



ゼルユニオンの闘い、派遣制度の問題点等を詳しく説明・話された。最後に、今後の方向性として登録型派遣の原則禁止、マージン率の上限規制等を求めていくことが重要であり、「正規と非正規の対立型にもって行くのではなく、非正規労働者を正規の労働者にしていくことが大切」と訴えられた。

第30回地方共闘総会

第30回地方共闘総会

第30回部落解放徳島地方共闘会議総会が3月23日夕、阿波観光ホテルで開催され、役員・代議員58人が参加した。

藤岡副議長の開会あいさつで始まり、議長にJP労組・西内代議員を選出後、共闘会議を代表して川越議長は「様々な格差拡大と二極化社会が進んでいる中、経済や社会のシステムを人権尊重、『共生・連帯・公正』の方向へ転換させ、安心して暮らせる社会を取り戻さなくてはならない。また、狭山事件の第3次再審闘争にも全力を挙げて取り組む」とあいさつ。

続いて、加村事務局長から活動経過報告・決算報告が、入谷会計監査から監査報告が行われ、全体の拍手で承認された。引き続き、「部落解

放・人権政策確立」に向けた活動方針・予算(案)が提案され、質疑の後、全体の拍手で承認された。また、役員改選では川越議長(連合会長)以下、新役員が選出された。

最後に、山下副議長の閉会あいさつ、川越議長の団結ガンバローを三唱で総会を閉じた。

なお、総会前の17時45分からJR徳島駅前で、23デー「狭山事件の再審を求める」ビラ・ティッシュまき行動を実施し、地方共闘役員、青年共闘、各構成組織から参加した。

【新役員体制・三役】

議長	川越 敏良(連合徳島)再
副議長	山下 久義(解放同盟)再
"	藤岡 一雄(連合徳島)再
"	西山 幸宏(平和センター)新
事務局長	加村 祐志(連合徳島)再

